

09016A	99工房 ねんどパテ 50g 硬化剤	作成日	2001年5月31日
第3版	株式会社 ソフト99コーポレーション	改訂日	2009年2月27日

1. 製品及び会社情報

製品名 99工房 ねんどパテ 50g 硬化剤
 製品コード 09016A
 会社名 株式会社 ソフト99コーポレーション
 住所 大阪市中央区谷町2-6-5
 担当部門 研究開発部
 電話番号 06-6942-6958
 奨励用途及び使用上の制限 自動車ボディのヘコミ・キズうめ用
 作成日 2001年5月31日
 改正日 2009年2月27日
 整理番号 09016A

2. 危険有害性の要約

GHS分類 GHS分類非該当 GHS非該当物質
 ※記載のないものは分類対象外または分類出来ない
 GHSラベル要素
 シンボル
 注意喚起語 なし
 危険有害性情報
 特になし
 注意事項 [安全対策] 特になし。
 [救急処置] 特になし。
 [保管] 特になし。
 [廃棄] 特になし。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
 ・混合物

成分名／ 化学名	含有量 (wt%)	化審法※1	安衛法※4	PRTR法No.※ 2	CAS No.	毒劇物 該非※3
ポリアルキルアミン・レゾール重縮合物	1～5	7-1166	非該当	非該当	非公開	非該当
重合脂肪酸・ポリエチレンポリアミン重縮合物	20～25	7-399	非該当	非該当	68910-90-7	非該当
無機系粉末	70～75	非公開	非該当	非該当	非公開	非該当

※1 化審法 官報公示整理番号(化審法)

※2 PRTR法報告物質 非該当 該当物質は含有しない

※3 毒物及び劇物取締法 非該当 該当物質は含有しない

※4 労働安全衛生法

表示物質： 施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質： 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

第2種有機溶剤・第3種有機溶剤： 施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則

有機溶剤中毒予防規則 非該当 該当物質は含有しない。

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・毒性はほとんどないが、気分が悪くなったりした場合は、下記のような処置を行う。
- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・毒性・刺激性はほとんどないが、液が付着した場合は、下記のような処置を行う。
- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹼でよく洗うこと。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける事。

飲み込んだ場合

- ・特になし

09016A	99工房 ねんどパテ 50g 硬化剤	作成日	2001年5月31日
第3版	株式会社 ソフト99コーポレーション	改訂日	2009年2月27日

最も重要な兆候及び症状

・特になし

応急措置をする者の保護

・特になし

医師に対する特別注意事項

・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

・初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

消火剤

・大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。

・特になし。

火災時の特有の危険有害性

・燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

特有の消火方法

・消火作業は、可能な限り風上から行なう。

・関係者以外は安全な場所に退去させる。

・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。

・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。

・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する

・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、

粉塵、ガスを吸入しないようにする。

・風上から作業し、風下の人を退避させる。

・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意

・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

回収、中和

・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる空容器に回収する。

・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い上の注意

技術的対策

・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。

適切な保管条件

・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。

安全な容器包装材料

・特になし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

日本産業衛生学会

ACGIH

管理濃度 許容濃度

(TLV-TWA) (TLV-STEL)

※ 記載のないものは、知見なし、設定されていない

呼吸器の保護具

・必要に応じて保護マスク等を着用する。

手の保護具

・必要に応じて保護手袋を着用する。

目の保護具

・必要に応じて保護眼鏡を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質 (原液)

外観

: 黄色パテ状

引火点

: 180℃

燃焼性

: あり

比重

: 1.78

溶解性

: 水に難溶、有機溶剤に可溶

安定性

: 乾燥状態で安定な物質である。

09016A	99工房 ねんどパテ 50g 硬化剤	作成日	2001年5月31日
第3版	株式会社 ソフト99コーポレーション	改訂日	2009年2月27日

反応性 : 強酸、エポキシ基を持つ化学物と強く反応する。

10.安定性及び反応性

化学的安定性	・特になし
危険有害反応性の可能性	・特になし
避けるべき条件	・特になし
混触危険性物質	・特になし
危険有害な分解生成物	・特になし
その他	・特になし

11.有害性情報

製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報:記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

急性毒性	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データなし
目に対する重篤な損傷/刺激性	データなし
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	データなし
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	データなし
吸引力呼吸器有害性	データなし

12.環境影響情報

製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報:記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

水生環境有害性(急性)	データなし
水生環境有害性(慢性)	データなし

13.廃棄上の注意

・廃棄する際は、中身を使いきってから、地域のゴミ処理方法に従って廃棄すること。

14.輸送上の注意

国際規制 国連分類	非該当
国連番号	非該当
国内規制 容器イエローラベル	非該当

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・荷くずれ防止を確実に行う。
- ・該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・直射日光を避ける。
- ・水漏れ厳禁。
- ・横積み厳禁。
- ・夏場の輸送時には、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15.適用法令

火薬類取締	対象外
高压ガス保安法	対象外
消防法 ()内は、指定数量	指定可燃物 可燃性固体 (3,000kg)
毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)	非該当(該当物質は含有しない)
労働安全衛生法	表示・通知対象物質を含有しない。
労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)	非該当 該当成分を含有しない。
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法 (PRTR法)	

09016A	99工房 ねんどパテ 50g 硬化剤	作成日	2001年5月31日
第3版	株式会社 ソフト99コーポレーション	改訂日	2009年2月27日

非該当 該当物質は含有しない。

詳細は 3. 組成、成分情報参照

16. その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート(MSDS)-第1部:内容及び項目の順序 JIS Z7250:2005
GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)
中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ
JACA(日本オートケミカル工業会)編集:化学物質管理データベース
オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (日本オートケミカル工業会)
危険物船舶運送及び貯蔵規則 (海文堂)

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。